



令和四年度文化財企画展

龍星閣が

つないだ

夢二の心

「出版屋」から生まれた
夢二ブームの原点



たびの女 竹久夢二 大正4年(1915)頃

菊 竹久夢二 大正7年(1918)頃

2023
1/7 土 » 2/28 火

前期 1月29日まで / 後期 1月30日から

※休館日：1月16日(月)、2月20日(月)

月～木・土 10:00～19:00 / 金 10:00～20:00
日・祝 10:00～17:00

千代田区立
日比谷図書館文化館
1階 特別展示室

観覧
無料

主催：千代田区
千代田区教育委員会

千代田区立
日比谷図書館文化館
Hibiya Library & Museum

龍星閣が つないだ 夢二の心

「出版屋」から生まれた
夢二ブームの原点

今回の展覧会は、令和4年4月1日に新たに区の指定文化財となった「龍星閣旧蔵竹久夢二コレクション」のお披露目を兼ねたものです。

本コレクションは、区内にあった出版社である龍星閣が集めたものでした。竹久夢二は、「大正ロマン」を象徴する詩人画家として知られていますが、没後は一時的に世間から忘れられたこともありました。再び脚光を浴びる一つのきっかけを作ったのが、龍星閣でした。龍星閣を興した澤田伊四郎は、「埋もれたもの、独自のものを掘り出して世に送ること」を信念とし、精力的に夢二の作品を収集し、夢二の作品集を作って次々と世に送り出しました。それをきっかけに、人々の熱い眼差しが再び夢二に向けられ、今の夢二ブームへと繋がりました。

本展覧会では、夢二復活のきっかけをつくらした龍星閣の出版活動を紹介するとともに、彼らが収集した龍星閣コレクションを紹介いたします。コレクション中には夢二の最初期の作品である「揺籃」など、貴重なものも含まれています。ぜひこの機会に千代田区のもつ竹久夢二コレクションをお楽しみください。



竹久夢二 (1884-1934)
岡山県邑久郡本庄村(現在の
瀬戸内市)出身。
大正期を代表する画家で、夢
二が描く抒情的な女性像は現
在でも人気がある。



イベント1

展示担当による ギャラリートーク

■日時

- ① 1月13日(金) 18時30分～
- ② 1月21日(土) 13時～
- ③ 2月 4日(土) 13時～
- ④ 2月10日(金) 18時30分～

各回
30分程度

■会場: 日比谷図書文化館1階 特別展示室内

■参加費: 無料

■参加方法: 事前申込不要(ただし先着20名まで)

- ① 竹久夢二「花のおも影」、龍星閣、昭和44年(1969)
小坂町立総合博物館郷土館
- ② 竹久夢二「揺籃」、明治36年(1903)
- ③ 竹久夢二「セノオ楽譜No.170『言はれぬ嘆き』」、大正9年(1920)
- ④ 竹久夢二「セノオ楽譜No.180
「歌劇マダム・バタフライ」唄れた日の」、大正9年(1920)
- ⑤ 竹久夢二「かるた会」(「新少女」口絵原画)、大正4年(1915)頃

※表記がないものについては千代田区所蔵

イベント2

企画展関連講座

① 「夢二が表現した“かわいい”と 出会う ～龍星閣旧蔵竹久夢二コレクションより～」

講師 竹久夢二美術館学芸員 石川 桂子氏

■日時: 令和5年1月21日(土)14時～

■会場: 日比谷図書文化館 4階スタジオプラス(小ホール)

■参加費: 500円

■参加方法: 事前申込抽選制(葉書・メール)/定員40名

②

「龍星閣創業者 澤田伊四郎 :出版にかける情熱」

講師 秋田県小坂町立総合博物館郷土館

学芸員 安田 隼人氏

■日時: 令和5年2月4日(土)14時～

■会場: 日比谷図書文化館 4階スタジオプラス(小ホール)

■参加費: 500円

■参加方法: 事前申込抽選制(葉書・メール)/定員40名

■申込方法

往復葉書またはEメールに以下を記載し日比谷図書文化館文化財事務局までお送りください。

①講座名(Eメールは件名にも講座名を記載)②郵便番号・住所 ③氏名(ふりがな)④年齢 ⑤電話番号
申込多数の場合は抽選(区民優先)

申込締切: 令和5年1月4日(水) 必着

